

2021年4月28日

報道関係各位

一般社団法人電子情報技術産業協会

JEITA、『デザイン経営のための現場ヒント集』を発行

— 現場にて立ちはだかる8つの課題に対して、失敗事例も含めてノウハウや事例を紹介 —

一般社団法人電子情報技術産業協会（JEITA）のデザイン委員会は、デザイン経営の実現に向けた風土改革のためのメソッドをまとめた『デザイン経営のための現場ヒント集』を発行し、本日、JEITAのWEBサイトにて公開したことを発表しました。これはデザイン経営を目指すうえで現場にて立ちはだかる課題を8つに分類し、解決のための活動事例やポイント等をまとめたもので、JEITA会員企業のみならず、どなたでも無償で[ダウンロード](#)することができます。

JEITAのデザイン委員会では国内および諸外国におけるデザインファースト事例の研究活動を通じ、国内企業のデザイン部門における共通課題を確認するとともに、共通課題に対しあるべき姿を描き発信することで、デザインのプレゼンス向上を図り、日本における「デザイン経営」実現を達成、産業競争力強化へと繋げることを目指しており、今回の活動はまさにその一環となります。『デザイン経営のための現場ヒント集』は、特許庁による『デザイン経営ハンドブック』にて示された「よく出くわす8の課題」に対し、委員会参画企業における事例をまとめ、分類・分析したものです。デザインマネージャーの視点から、課題の要因を抽出、実践を通じたノウハウ・留意点に加えて、失敗事例も含めて具体的に提示しています。

本ヒント集について、デザイン委員会傘下のデザインマネジメント専門委員会で2020年度の委員長を務めた小田恭彦は次のように述べています。

「デザイン経営という言葉そのものは浸透しつつあるものの、現場では試行錯誤が続いています。今回のヒント集でまとめたのは、華やかな成功事例ではなく、実際に現場で悪戦苦闘している仲間たちの泥臭い生の声です。だからこそ役に立つ情報がまとまったと自負しています。JEITAデザイン委員会は、会員企業はもちろんのこと、あらゆる企業のデザイン経営の実現をサポートすることで、社会に貢献してまいります」。

デザイン経営の実現を目指し、JEITAデザイン委員会は今後も活動を推進してまいります。今後の取り組みにつきましては、随時発表いたします。

【本件に関するお問合せ先】

一般社団法人電子情報技術産業協会(JEITA) 経営企画本部 政策渉外部 広報室

TEL : 03-5218-1053 E-mail : press@jeita.or.jp

詳細情報

■概要

タイトル：

デザイン経営のための現場ヒント集

発行：

一般社団法人電子情報技術産業協会（JEITA）

価格：

無償（JEITAのWEBサイトよりPDFにてダウンロード）

<https://www.jeita.or.jp/cgi-bin/public/detail.cgi?id=800&cateid=1>

公開日：

2021年4月28日

目次：

よく出くわす8の課題

- 01 経営陣の理解不足
- 02 全社的な意識の不統一
- 03 用語・理解の不統一
- 04 人材・人事
- 05 効果を定量化できない
- 06 組織体制・評価指標ができない
- 07 ビジネスとの両立
- 08 既存プロセスへの組込

調査対象企業：

キヤノン株式会社、コニカミノルタ株式会社、株式会社JVCケンウッド・デザイン、シャープ株式会社、セイコーエプソン株式会社、ソニーグループ株式会社、株式会社東芝、TOTO株式会社、株式会社ニコン、日本電気株式会社、パイオニア株式会社、パナソニック株式会社、株式会社日立製作所、富士通株式会社、富士電機株式会社、三菱電機株式会社、株式会社リコー